

2022

発行日 毎月1日 通算発行 429号

1



# 協会報

新春を迎えて『令和4年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保



新春ご挨拶

寅年は語る



## 白山からの日の出<白山市>

日本三名山の一つにも数えられる白山。夏でも雪を頂き、光を浴びて白く輝く神秘的な姿に、人々は感謝と畏敬の心をこめ、古来、信仰の対象としてきた。717（養老元）年、泰澄大師によって開山され、信仰登拝が始まったと伝えられている。現在では山頂近くに白山室堂ビジターセンターが整備され、一泊して日の出を見るご来光登山も人気である。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

**石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>



# 建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」  
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は  
日本全国どこの現場でも  
公共工事も民間工事も

# 建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
**建設業退職金共済事業本部**  
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

**建退共石川県支部**

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)  
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258



白山からの日の出  
＜白山市＞

# CONTENTS 1

<b>1 新春を迎えて</b>	
『令和4年新年あいさつ』 (一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保	2
<b>2 新春ご挨拶</b>	
石川県知事 谷本正憲	3
一般社団法人全国建設業協会会長 奥村太加典	4
厚生労働省石川労働局長 吉田研一	5
国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 近藤勝俊	6
<b>3 寅年は語る</b>	
山田外志雄、辻森久美、白米直道、吉光成寛、長坂慎太郎	7
<b>4 今月のトピックス</b>	
谷本知事を囲む懇談会の開催	10
県選出国会議員に対する要望活動	11
<b>5 令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.1</b>	
株式会社高田組	12
<b>令和3年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.2</b>	
株式会社大河組	14
<b>6 雇用改善コーナー</b>	
石川県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催	16
金沢市立工業高校生との意見交換会の開催	16
石川県立小松工業高校における企業ガイダンスの開催	17
<b>7 地区協会コーナー</b>	
建設業の魅力を高校生にアピール 「石川県立翠星高校生徒との現場見学会・職業講座」を開催 (一社)白山野々市建設業協会	18
<b>8 今月の「輝き！」さん No.82</b>	
三友工業株式会社 西谷尚也さん	19
<b>9 協会だより</b>	
(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催	20
委員会の開催	20
土木委員会	
施工対策部会 工事現地検討会班長会議(後期)の開催	20
正副委員長会議の開催	21
建築委員会	
金沢地区安全パトロールの開催	21
土地改良委員会	
北陸農政局長等への施策提案	22
<b>10 国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催</b>	
<b>令和3年度「私たちの主張」応募作品の紹介</b>	
「建設業の若手の増加」 兼六建設株式会社 爲田拓馬	23
「これからの建設業への想い」 株式会社吉光組 宮田和季	24
<b>11 業界時報</b>	
労働災害発生状況	25
令和3年度 建設工事受注高調(元請)	25
<b>12 会員の異動</b>	26
<b>13 県協会からのお知らせ</b>	26
<b>14 地区協会からのお知らせ</b>	27

## 新春を迎えて

### 『令和4年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保



令和4年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より国、県などの行政機関の方々、建設産業関係の方々には建設産業の振興にご理解とご協力を頂き、また当協会の活動に対し格別のご配慮を賜り心から御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大して約2年が経過し、昨年も石川県に「まん延防止等重点措置」が適用され、飲食店の営業時間短縮や県境をまたぐ移動の自粛などが求められました。県協会として、会員企業の社員・家族、取引先で働く方々の感染防止対策の徹底と医療従事者を応援するため、協会独自に「感染防止アクション宣言」を行うとともに、新型コロナワクチン接種の加速化と自治体の負担軽減を図るため職域接種に取り組みました。コロナウイルス感染症の終息が見えない中、エッセンシャルワーカーとして地域の安全・安心に取り組む一方、設備投資をはじめ民間工事の事業中止に加えて、ウッドショック、アイアンショックなど資材高騰から受注を控える動きもでており経営に厳しい影響が出ています。

コロナを克服し新たな時代を開くため、第6波の拡大など次の危機に備えた医療体制の充実と感染拡大防止対策のもと、社会経済活動を再開して

落ち込んだ経済を早急に回復させる必要があります。そのためにも、国土強靱化対策を始めインフラ長寿命対策など建設投資による内需の拡大、雇用の拡大を図ることが不可欠となっています。地元建設業界として県民の安全・安心の確保に向け全力を挙げて対応していますが、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などインフラ整備の着実な実施に向けて公共投資を機動的に推進する必要があります。今年度補正予算と来年度当初予算を一体的に編成し切れ目のない対策が進められることで、強靱な県土づくりと地域経済の活性化に繋がることを期待しています。

近年、全国各地で自然災害が激甚化・頻発化しています。昨年も、記録的な大雨により熱海の土石流など多くの犠牲者が出る災害が発生しました。県協会では、昨年、災害時に国や県からの協力要請に迅速に対応するため「災害応急対策資材の流通在庫備蓄に関する協定」を締結し、災害に備えた新たな資材備蓄に取り組みました。このような中、岸田首相からは「重要インフラの整備に計画的に取り組みます。老朽化対策を含め、防災・減災、国土強靱化の強化とともに、高速道路、新幹線など、交通、物流インフラの整備を推進します。」との所信表明がありました。政府の経済対策の4本柱の一つに「防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保」が位置付けられたことから、国を挙げて大雨や地震などの災害時への備えを強化するとともに、国土強靱化対策が大きく前進することを切望しています。

今、建設業を取り巻く環境は大きく変化しています。県協会では、若者から選択される職場づくりに向け、休日確保など就労環境の改善やICTの導入・推進など働き方改革と生産性向上を両輪として労働環境の改善に取り組んでいます。魅力ある産業となれるよう積極的にDXに取り組むとともに、女性部会「百万石小町『結』」の活動などを通じて広報力の強化に努めてまいります。地域建設業が「地域の守り手」としての役割を果たすためにも、健全で安定した経営ができるよう持続的・安定的な予算の確保と適正な利益が確保できる入札・契約制度の更なる改善を求めてまいります。

県協会として、建設業界の発展に向け行政との相互連携・協力のもと、社会インフラの整備や維持管理を通して社会的任務を果たしていく所存です。国土交通省をはじめ発注機関の皆様方の一層の御指導と、全国建設業協会・各都道府県協会のご支援をお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新春ご挨拶



### 『個性、交流、安心のふるさとづくり』

石川県知事 谷本 正 憲

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、県民の皆様にご挨拶を申し上げます。

去年は、新型コロナウイルスとの闘いが一進一退を繰り返した年でした。

感染防止対策と地域経済の再生の両立が重要であり、引き続き、あらゆる手立てを講じるとともに、本県の更なる飛躍・発展に向けた施策にも、着実に取り組んでまいります。

感染防止対策については、医療関係者の皆様のご意見もお聞きしながら、医療提供体制の確保に万全を期してまいります。また、地域経済の再生に向けて、引き続き必要な対策を講じるとともに、原油価格の高騰などの影響も注視してまいります。さらに、企業の将来の成長に向けた前向きな取り組みも、しっかりと後押ししてまいります。

現在は新型コロナの影響を受けていますが、本県の魅力が失われたわけではなく、令和5年度末の北陸新幹線県内全線開業なども見据え、交流人口の拡大に取り組んでいくことが重要です。

北陸新幹線については、日本海側の大動脈としての役割を最大限発揮するためにも、引き続き、金沢・敦賀間の令和5年度末までの開業及び敦賀・大阪間の令和5年度当初の着工とフル規格による早期全線整備を、国に強く働きかけてまいります。

道路網については、幹線道路ネットワークの整備をさらに進めてまいります。

金沢港は、新たな賑わいの拠点として定着しています。今後とも、貨物、クルーズ、賑わいの機能を最大限発揮し、日本海側の拠点港として更なる飛躍を期してまいります。

小松空港、のと里山空港については、回復の動きが見られており、引き続き、感染状況や利用状況等を注視しながら利用促進に取り組んでまいります。

金沢城二の丸御殿の復元については、基本設計や障壁画の再現に向けた検討などに取り組んでおり、引き続き、着実に進めてまいります。

新県立図書館については、外構工事など、開館に向けた準備を進めてまいります。また、西部緑地公園については、県立野球場及び産業展示館の建て替えを含め園内の再整備を行うこととし、検討を進めてまいります。

令和5年秋の「いしかわ百万石文化祭2023」については、県民総参加による石川ならではの文化の祭典を目指して、準備を加速させていきます。

安全・安心の確保については、治水対策などの防災・減災対策や防災士の育成といった地域防災力の向上などに、しっかりと取り組んでまいります。

農林水産業については、農林水産物のブランド化や、他産業のノウハウを活用した生産の効率化により付加価値や収益性の向上を図ってまいります。

地球温暖化の防止については、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、環境総合計画の改定を進めてまいります。

少子化対策については、引き続き、結婚・妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援の充実を図ってまいります。

教育については、児童生徒の学力・体力の維持向上に向けて、一人ひとりの個性、適性に応じた教育の充実や特別支援教育の教育環境の向上を図ってまいります。

新年を迎え、旧年にも増して県政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



## 『令和4年年頭所感』

一般社団法人全国建設業協会会長 奥村 太加典

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みると、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、わが国でも1日の新規感染者が全国で2万5千人を超える深刻な状況に陥り、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による社会経済活動の制限が長期化するなど、感染拡大への対応に追われる1年となりました。

一方で、1年の延期を経て開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」は、ほとんどの会場で無観客開催となったものの、世界中から集まった多くのアスリートやパラアスリートによる延べ30日にわたる熱戦が各地の競技会場で繰り広げられ、その活躍は世界中の人々に勇気と感動、そして希望をもたらし、コロナ禍で混乱が続く厳しい社会情勢の中、明るい話題となりました。

10月以降は、わが国でもワクチン接種など様々な対策が功を奏し、感染状況に落ち着きが見られつつありますが、感染力の強い新たな変異株の感染拡大が懸念されるなど、新型コロナウイルスとの闘いは長期化が避けられないと見込まれています。

ウィズコロナの状況においても社会経済を活性化させるためには、感染防止対策や医療体制の充実とともに、未来を切り拓くための成長戦略として、積極的な財政出動による公共投資を機動的に推し進めることで、内需を振興し、雇用を拡大することが不可欠です。

また、気候変動の影響により近年自然災害が頻発化、激甚化しているなか、昨年も記録的な大雨により、7月に静岡県熱海市で大規模な土砂災害が発生したほか、8月には全国各地で河川の氾濫に伴う橋や道路の崩壊が発生し、尊い人命や貴重な財産が失われました。

このような大規模な自然災害などに屈しない強靱な国土づくりを目的として、昨年4月から政府が新たに「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に取り組んでいます。これまでの3か年緊急対策より実施期間や予算規模、事業範囲が大幅に拡充されており、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化が図られることを期待しております。

地域建設業は、これまで人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としてその社会的使命を果たしてまいりましたが、来るポストコロナの新しい時代においては、「新しい地域の創り手」として、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの担い手としての役割も務めていかななくてはなりません。これからもこれらの使命を果たしていくため、社会資本の整備が計画的かつ安定的に推進されるよう政府や関係機関に広く訴えていくとともに、経営基盤の強化や、担い手の確保・育成、生産性向上、働き方改革など、克服すべき諸課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



## 『年頭のご挨拶』

厚生労働省石川労働局長 吉田 研 一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

石川県建設業協会の皆様方には、日頃から石川労働局の行政運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

石川労働局では、新型コロナウイルス感染症が社会経済活動に及ぼす様々な影響のなか、職場における感染症防止対策の推進、特別相談窓口の設置、雇用調整助成金及び感染症対応休業支援金・給付金の迅速な支給に加え、労働者のモチベーション維持も図りつつ雇用を維持する在籍型出向の取組の推進、業務によって感染した場合の労災保険給付の迅速支給など機動的な雇用施策等に積極的に取り組んでおります。

また、働き方改革による労働環境の整備につきましても、引き続き、小規模事業所まで浸透させるよう、労使団体等とも緊密に連携し、石川働き方改革推進支援センターや各助成金の利用勧奨と丁寧な相談支援を行い、中小企業等の取組の支援に努めてまいります。

その他、雇用維持の取組と同時に、若者、就職氷河期世代、高齢者、女性など多様な人材の活躍促進を進め、人手不足に対応した人材確保支援、人材育成の強化、キャリアアップに向けた処遇改善なども引き続き行ってまいります。

令和3年の石川県内の労働災害の発生は、前年を上回る状況となっており、令和3年11月末での発生状況は1,166人で、前年同期に比べ197人、割合にして20.3%の増加となり、憂慮すべき事態となっています。令和4年度までの第13次労働災害防止計画の目標達成に向けて、墜落・転落等の労働災害防止対策、冬季無災害運動、ガイドラインに基づく高齢者に配慮した安全衛生対策、石綿ばく露防止対策をより一層推進し、「労働者が健康で安全に働くことができる職場環境の整備等」に努めてまいります。

なお、令和4年4月1日より、職場におけるパワーハラスメント防止のための雇用管理上の措置義務が中小企業にも拡大され、改正育児・介護休業法も段階的に施行されます。説明会等、あらゆる機会をとらえその周知に努めているところです。

労働局としては、関係機関・団体とも連携を密にし、地域の課題や労使・県民の皆様の期待に、今後とも応えてまいりる所存ですので、引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 『年頭のご挨拶』

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 近藤 勝俊

あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

北陸地方整備局では、地域が持つ資源を活かし、新たな交流機会の拡大により魅力ある地域づくりに取り組んでおります。また、その個性ある地域が互いに連携することを支援しています。

石川県は、厳しい自然条件と向き合い、この地で培われた独自の伝統・文化とともに、個性豊かな地域を形成し発展してきました。私は、この魅力ある地域をさらに充実させて、住む人々の満足度を高め、優れた点を国内外に発信することによってさらに多くの人々を惹きつけることができると考えます。新型コロナウイルスにより経済活動は厳しい状況にありましたが、現在は新規感染者数が低い水準となっており、感染拡大リスクを適切に管理しながら、社会経済活動の回復が図られていくものと信じております。そのためにも金沢河川国道事務所として、地域の発展に尽力していきたくと思います。

治水事業では、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、砂防事業や海岸事業なども含む河川の流域のあらゆる関係者が協力して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換し集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域としてとらえ、地域の特性に応じた対策をハード・ソフト一体で多層的に進めることとしています。

梯川では、水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクトとして引堤等を進めており、完成に向けて関係機関と協議をしながら事業を進めて参ります。

道路事業では、北陸地方整備局において昨年4月に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定しました。災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築を進め、防災・減災、国土強靱化に向けた県内の道路インフラの整備を着実に進めて参りたいと思います。

また、昨冬は大雪に見舞われましたが、大雪時の道路交通確保に対する考え方も従来の「道路を出来るだけ通行止めにしたくないこと」から「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」と転換されたところです。

我々も関係機関との連携強化等、車両滞留の徹底的な回避に努めてまいります。皆様におかれましても、大雪時における道路利用抑制等のご協力をお願いします。

国土交通省の治水事業と道路事業を担当する石川県内で唯一の総合直轄事務所として、地域の安全・安心の確保や地域の活力のために尽力してまいります。本年も微力ながら石川県の発展に寄与できるよう努力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 寅年は語る



### 山田外志雄（昭和37年1月4日生）

宏州建設株式会社 代表取締役

あけましておめでとうございます。

この2年間、コロナで何事にも自粛ムードが漂う世の中ですが、屋外のスポーツ「ゴルフ」でストレス解消に努めています。趣味も「ゴルフ」特技も「ゴルフ」、健康と体力づくりのためにゴルフに真剣に向き合っています。孫から、「お爺ちゃんゴルフ頑張ってる」この一言でどんなに疲れていても頑張れる今日この頃です。ゴルフができるのも、皆様のお支えのおかげです。今年が皆様にとって良い年になりますことを心よりお祈り申し上げます。



（本人：右から2人目）

### 辻森久美（昭和49年6月29日生）

巻建設株式会社 代表取締役

あけましておめでとうございます。

前回書かせて頂いてから12年。この間は人生盛り沢山で私自身驚いています。結婚、妊娠、出産、代表取締役就任、そして父の他界。園長先生の「働くお母さんを応援します」のお言葉で、1歳2ヶ月から幼稚園に通っている息子と一緒に日々成長中です。（笑）

昨年五月、青柏祭の五歳児袴着行事に参拝しました。一般でいう七五三です。本来ならでか山の運行があり、写真の鳥居の向こうにはでか山が奉納されているのですが、昨年も運行は中止となり神事のみが行われました。逆にとても貴重な参拝ができたことに感謝しています。

交流も少しずつ再開し、直接会っての会話がとても楽しいことを再認識しています。早く以前のような生活に戻れたらと思う今日この頃です。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



## 白米直道 (昭和49年8月6日生)

昭和建設株式会社 専務取締役

新年あけましておめでとうございます。

この原稿を書いている時点では、新型コロナも石川県では10日以上感染者が出ておりません。いわゆる第6波など来ずにこのまま終息し、忘れかけている普通の生活に戻ることを願うばかりです。

さて、私たち建設業は幸運にも他産業と比べ新型コロナの仕事への影響は少ないと思いますが、担い手不足という大きな問題があります。

特に弊社のある奥能登地域においては、少子高齢化ならびに人口減少が顕著で若手従業員の確保が大変困難な状況です。

マンパワーの減少は、我々の大きな使命である災害復旧や除雪に対応する機動力の低下に直結します。

地域の若い世代から少しでも魅力的な仕事とってもらえるよう、新3Kを単なるキャッチフレーズとせずに、まずは弊社従業員の処遇改善を継続的に実行し、より「魅力的な会社」として、弊社経営理念である「社業を通じて地域社会の発展に貢献する」ことを年男を迎えるにあたり、あらためて決意する次第です。

弊社は今年創立70周年を迎えます。これもひとえに地域の皆さん、従業員とそのご家族、業界関係者の皆さんに支えていただいたおかげでございます。心より感謝申し上げます。

本年も皆様にとって良い年となりますようお祈りいたします。



## 吉光成寛 (昭和49年8月26日生)

株式会社吉光組 代表取締役副社長

新年あけましておめでとうございます。昨年もコロナ禍で様々な制限がありましたが、ポジティブに捉えると「学びの時間」を確保する事が出来ました。その学びを踏まえて新年は2つの事を実行します。

1つ目は昨年、陸上特殊無線技士資格に合格した事から弊社内に無線局開設申請をします。これは近未来、ドローンによる測量や配達、農業等を手掛ける際に必要となります。

2つ目は昨年6月に発足した「一般社団法人全国建設発生土リサイクル協会 (JASRA)」において「土質改良プラント認証制度」の構築や「専門技術者資格制度」の整備に積極的に関与しようと思います。建設発生土に関しては昨年7月に起きた熱海土石流を切っ掛けに、世論や発注者から早急な整備が求められている事から、スピード感を持って取り組みます。

このように新年は協会の皆様方からの御指導も頂きながら、学びから実行へ遂行する虎年の一年が想定されますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



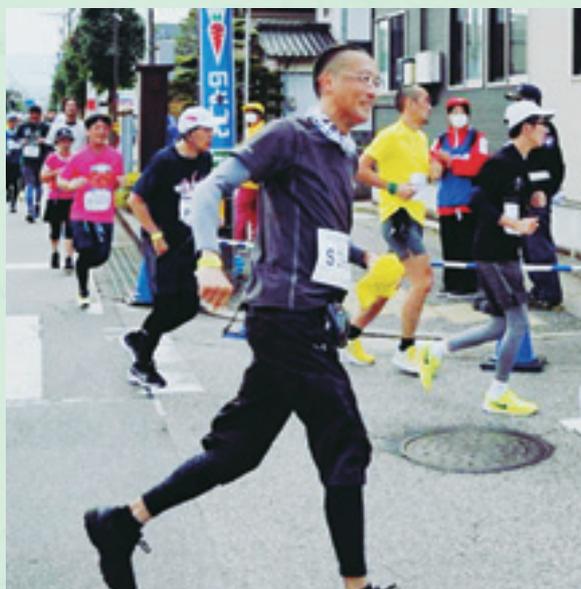
**長坂慎太郎** (昭和49年11月26日生)

株式会社長坂組 代表取締役

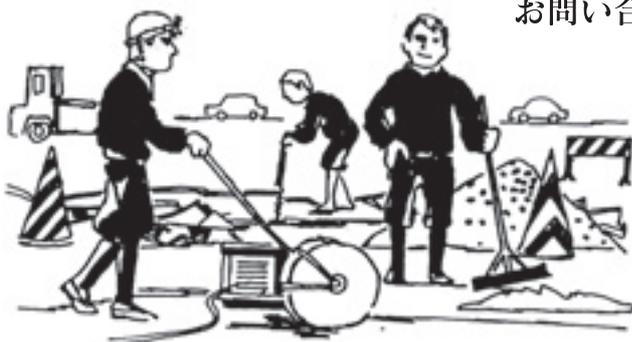
新年明けましておめでとうございます。

すっかり挨拶の枕詞にコロナが定着してしまいましたが、2019年から始まった新型コロナウイルスは今ではオミクロン株と変化を遂げています。一時よりは人の往来も増え、県内外に出かける機会も増えて少しは出口が見えてきたのかな?と思った矢先でしたが、状況は未だ流動的だと認識せざるを得ません。ここは今一度気を引き締めて感染症対策に配慮し2022年を乗り越えたいと思います。

私事になりますが昨年は2017年以来4年ぶりに4回目の金沢マラソンに参加し自己ベストを更新して完走する事が出来ました。以前の自分では走るなんて考えもしない事でしたが、1kmを走り切る事から始めてようやくフルマラソンも完走出来るようになりました。地味な努力ではありますがやはり継続は力だと思えます。何事も諦めることなく一歩一歩前進あるのみ!社業でも私事でも邁進したいと思います。皆さま方に願わくは、本年もご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。そして2022年が皆さま方にとりましてより良い一年となりますように心よりご祈念申し上げます。

**不慮の災害事故発生にそなえて****全建協連総合補償制度  
自動車保険**

お問い合わせは・・・・・・・・

**石川県総合建設業協同組合**損害保険ジャパン株式会社  
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

## 今月のトピックス

### 谷本知事を囲む懇談会の開催

開催日時 令和3年12月20日(月) 15:30~17:30  
 開催場所 ホテル日航金沢  
 出席者 石川県 谷本正憲知事、城ヶ崎正人土木部長、畝本秀一参与  
 協会 正副会長、役員等65名

#### 概要

懇談会の冒頭、平櫻 保会長が「28年間の長きにわたり、インフラの整備をはじめとした公共工事の推進並びに県土の魅力づくりや県民生活の安全・安心の確保など、石川の発展にご尽力をいただき感謝申し上げます。」と谷本知事の功績をたたえた。これに対し知事は「石川県を日本海側のトップランナーに押し上げる足掛かりとするための事業に取り組んできた28年間だった。今後も、県と建設業界が二人三脚で石川の将来の発展に向けた社会資本整備に努めていきたい。」と感謝の挨拶を行った。

懇談では、協会側を代表し山岸 勇専務理事が要望書に基づき、公共事業予算の継続的・安定的な確保、新型コロナウイルス感染症にかかる対策、地元建設企業の受注機会の確保など8項目について要望を行ったほか、各地区の協会長が地域の重点的な要望事項について説明を行い、知事及び土木部幹部がこれに答える形で進められた。要望に対し県側から前向きな発言があり、詳細な回答は後日文書でいただくこととした。鶴山庄市副会長の挨拶で閉会した。

#### 〈石川県建設業協会の要望事項〉

1. 公共事業予算の持続的・安定的な確保
2. 新型コロナウイルス感染症にかかる対策
  - (1) 景気対策としての公共投資の確保
  - (2) 多極分散型の国土形成に向けた取り組み
3. 地元建設企業の受注機会の確保
4. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
  - (1) 予定価格の適正な設定と適時・適切な設計変更
  - (2) 発注・施工時期の平準化と適切な工期設定
  - (3) 設計労務単価の引き上げ
  - (4) 最低制限価格の更なる引き上げと上限撤廃
  - (5) 書類の簡素化・合理化と業務の効率化
5. 安心して災害活動を行うための災害協定の見直し
6. 週休2日制の実現に向けた環境整備
7. ICT活用工事を推進するための支援・充実
8. 持続可能な除雪体制の確保



谷本正憲知事



平櫻 保会長



懇談会会場

#### 〈地区協会の要望事項〉

##### 【加賀建設業協会】

- ・国道8号加賀拡幅工事及び福井県境部の整備促進について
- ・大聖寺・加賀温泉駅間道路（大聖寺道路）の整備促進について
- ・南加賀道路の整備促進及び加賀インター線の冬期交通の安全確保について
- ・動橋川河川改修事業及び柴山潟周辺片山津温泉地域の浸水対策事業の整備促進について
- ・二級河川の適正な維持管理について
- ・主要地方道小松山中線の整備促進について
- ・主要地方道小松加賀線・加賀市境から主要地方道山中伊切線・源平橋詰交差点までの道路改良について
- ・国道360号（飛騨地域～小松空港間）の早期事業化について

##### 【小松能美建設業協会】

- ・国道360号（飛騨地域～小松空港間）の早期事業化
- ・金沢港と南加賀地域を結ぶ海岸沿いの「加賀海浜産業道路」の整備促進

- ・能美東西連絡道路の整備促進
- ・川北縦貫道路の整備促進
- ・国道305号の早期4車線化に向けた整備促進
- ・国道416号の安全性確保のための整備促進
- ・木場瀉公園東園地の整備促進

**【白山野々市建設業協会】**

- ・国道360号（飛騨地域～小松空港間）の早期事業化
- ・国道157号の整備促進について
- ・加賀海浜産業道路の整備促進
- ・（都）鶴来本町通り線無電柱化事業の整備促進と延伸
- ・一般県道松本木津線の幹線道路としての整備促進
- ・砂防堰堤の機能強化及び堆積土砂の除去
- ・二級河川高橋川改修工事の延伸

**【河北郡市土建協同組合】**

- ・かほく東西幹線道路の延伸工事について
- ・消雪設備の延伸促進について
  - イ 主要地方道松任字ノ気線（内灘町西荒屋地内）
  - ロ 主要地方道高松津幡線（津幡町加茂地内～JR本津幡踏切）
  - ハ 主要地方道高松津幡線（津幡町北中条地内～加賀爪交差点）
- ・一般県道高松内灘線（かほく市遠塚交差点～木津地内）の歩道整備の促進について
- ・一般県道中尾津幡線に係る交差点の安全安心に向けた取組みの検討について（津幡町浅田交差点）
- ・老朽化した河川の護岸補修工事について
  - イ かほく市内二級河川（大海川、宇ノ気川等）
  - ロ 二級河川河北瀉西部承水路
- ・一般県道瓜生能瀬線の道路改良の早期着手について（津幡町上矢田地内～中山地内）
- ・宇ノ気内灘～高松七塚海岸の浸食対策について
- ・一般県道高松内灘線の部分的道路改良等の検討について
  - イ かほく市松浜～木津地内
  - ロ 内灘町室地内～西荒屋地内

**【羽咋郡市建設業協会】**

- ・「のと里山海道」4車線化の整備促進
- ・国道249号直海荒屋道路2期区間（豊後名～三明）の整備促進
- ・国道415号（宝達志水町杉野屋～県境）改築工事の整備促進と新規事業化
- ・押水羽咋海岸（千里浜海岸）及び増穂浦海岸の浸食対策工事の整備促進
- ・二級河川宝達川の改修及び新規事業化

**【七尾鹿島建設業協会】**

- ・「のと里山海道」柳田IC～上棚矢田IC間さらに全線4車線化の事業促進
- ・七尾外環状道路の整備促進
- ・国道249号七尾市中島町外～田岸地内の整備促進
- ・熊木川、鷹合川の整備促進
- ・本土寺川及び畑外谷川、井田川4号砂防堰堤の整備促進
- ・管内二級河川の中州除去の促進
- ・七尾港の整備促進について

**【鳳輪建設業協会】**

- ・広域交流幹線軸道路網の整備促進について
- ・地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について
- ・砂防・地すべり・急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について
- ・港湾・漁港の整備促進について
- ・二級河川の整備と適正な維持管理について
- ・越波対策並びに海岸老朽化対策について

**【珠洲建設業協会】**

- ・地域振興と暮らしを支える道路整備の促進について
- ・河川改修と海岸保全施設の整備促進について
- ・津波対策の支援について

**【金沢建設業協会】**

- ・デジタル化の推進について
- ・災害発生時の通信連絡手段
- ・建設発生土の再利用の促進による循環型社会の形成
- ・土木・建築施工管理技術検定の試験会場の誘致について

## 県選出国會議員に対する要望活動

（一社）石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、12月14日（火）、東京で石川県選出の自民党国会議員に対し、公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分等4項目を要望した。

平櫻会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、山岸 勇専務理事、川西豊博事務局長の5名が、岡田直樹参議院議員、佐々木紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、小森卓郎衆議院議員と面会し要望書を手渡した。要望の中では、公共事業予算の継続的・安定的な確保を要望するとともに、地方への重点的な配分を要望した。また、防災・減災、国土強靱化対策が着実に推し進められるよう求めた。岡田議員は、「国土強靱化対策は国の重大な責務であり、しっかりと取り組んでいかなければならない」と述べられ、他の議員からも、「来年度当初予算で必要な予算額が確保できるよう国会で取り組んでいくべき」との力強いお言葉を頂いた。

**【要望事項】**

- 1 公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分
- 2 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
- 3 地元建設業者の受注機会の確保
- 4 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施

# 令和3年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.1

施工企業名：株式会社高田組

■工 事 名 金沢城公園整備工事（鼠多門橋）

■工 事 分 野 公園工事

■施 工 場 所 金沢市丸の内～尾山町 地内

### ■工 事 概 要

施工延長 L=32.6m

橋 長 L=32.6m

幅 員 W=4.3m

上部工 N=1式

下部工 N=1式

■工 期 平成30年8月24日～令和2年7月15日

### ■推 薦 理 由

本工事は、金沢城公園の鼠多門と尾山神社を結ぶ橋梁を整備する工事である。

工事箇所は、交通量の多い市道上であり、隣接して鼠多門の復元整備が進められ、史跡金沢城に係る遺構や石垣を保護する必要があるなど様々な制約のある環境であったが、安全対策や円滑な工程調整に努めるとともに、文化財担当者と情報共有を密にして、慎重かつ丁寧に施工を進めた。

施工にあたっては、狭隘な作業ヤードにおいて、後方視界サポートシステムを搭載した小旋回バックホウを使用し、石材加工時にはバックフィルター付き集塵機を使用するなど、作業環境の安全確保に努めた。

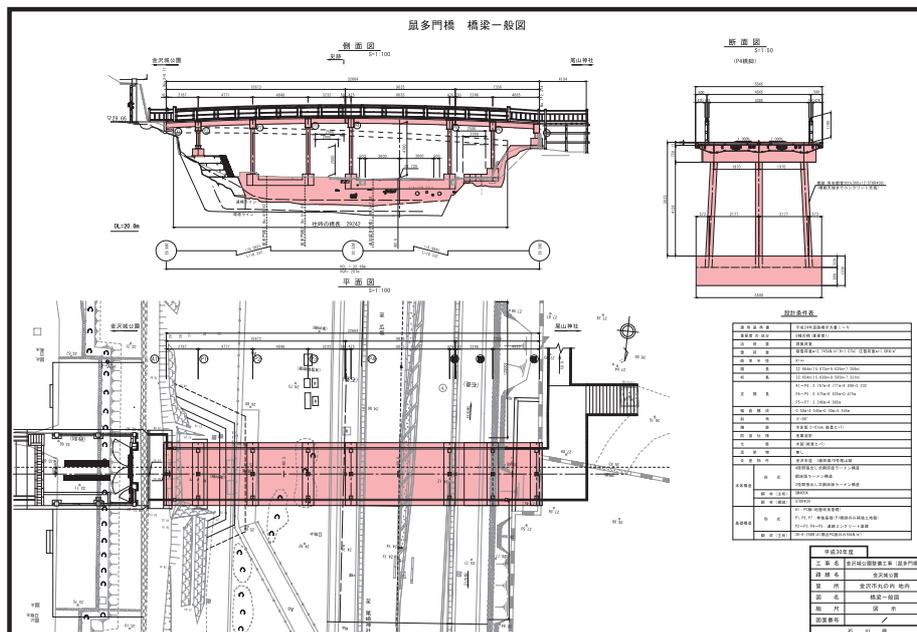
また、施工順序・方法の把握に3Dモデル画像を使用したほか、VR事故体験装置を使用した意識の高い安全教育の実施、5カ国語表示の交通規制予告看板の設置など様々な工夫に取り組んだ。



完成



完成



平面 側面図



橋脚施工状況 1期工事 市道迂回路



橋脚施工状況 2期工事



掘削状況 P-4P-5橋脚部



エアモルタル打設状況 P-4P-5橋脚下部 金沢市企業局埋設管鞘管



P4-P5橋脚 完了



1期工事完了



完成予想図3Dイメージ

■現場代理人のコメント



現場代理人  
孫田吉広氏

この度、優良建設工事知事表彰を頂きまして、誠にありがとうございました。発注者の県央土木総合事務所の皆さまをはじめ、事業主体の土木部公園緑地課の皆さまや金沢城調査研究所の皆さまには、工事期間中は大変お世話になりました。心より厚くお礼申し上げます。

本工事は、北都鉄工・高田組特定建設工事共同企業体（乙型）として、当社は鼠多門橋橋梁下部工並びに橋の下を通る市道の改良工を担当しました。

大々的な起工式後に工事に着手し、2年後の東京オリンピック開催前の完成を目指しました。

工事に関しては、交通規制や隣接する鼠多門工事など制約が厳しい条件下でありましたが、市道を一方通行規制とし、迂回路を設置しての1期工事、完了後に交通規制を解除しての2期工事を施工する順序で行いました。

安全・工程・品質管理はもちろんですが、埋蔵文化財の保護に細心の注意を払いつつ、日々の施工に努め、時間はかかりましたが、多くの関係機関、関連業者、協力業者の協力のおかげをもちまして無事完成を迎えることができました。

今日現在、多くの県民、観光客の方々の訪れる名所の建設に微力ながら貢献できたことを励みに今後も精進を続けてまいります。関係者の皆さま、ありがとうございました。

# 令和3年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.2

施工企業名：株式会社大河組

■工事名 令和2年度 県営震災対策農業施設整備事業 津幡大池地区 堤体工事

■施工場所 河北郡津幡町字津幡地内

### ■工事概要

堤体工 1式

堤体工 L=83.9m

地盤改良 L=70.6m

ブロックマット A=864.0㎡

■工期 令和2年9月2日～令和3年3月10日

### ■推薦理由

軟弱な池底を施工ヤードとして利用した堤体工事

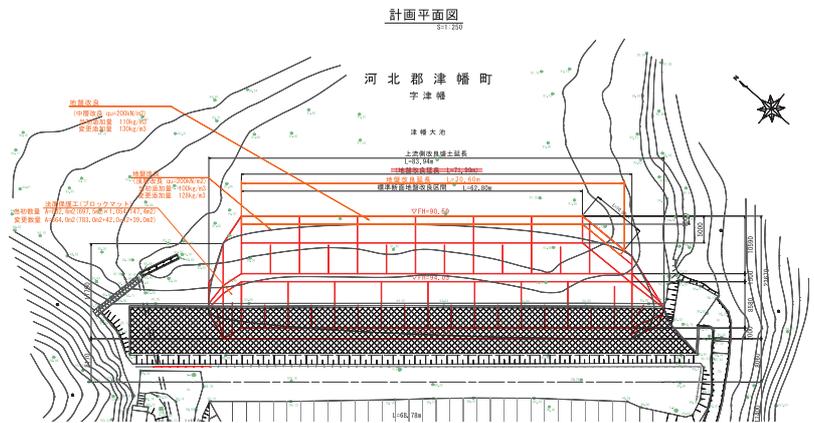
本工事は、堤高8.6m、堤長106.0m、貯水量約55,000㎡を有する農業用ため池の耐震補強工事（堤体の上流側押え盛土工）を実施するものであり、施工期間が農閑期と限定されること、極めて軟弱な地盤下のため池内での施工となるなど、厳しい現場条件であったが、確実な地盤改良などにより安全な工事進入路や施工ヤードを確保し、適切な出来形及び品質管理を行い、出来栄も良好であった。また、適切な工程管理を行い、工期内に工事を完成させたことから、他の模範となる工事である。



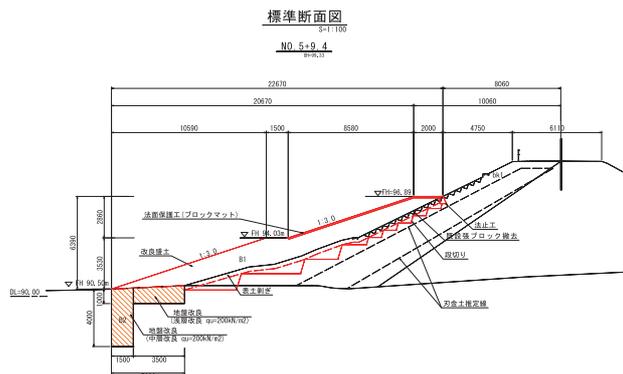
完成 南東側より



完成 北西側より



計画平面図



標準断面図



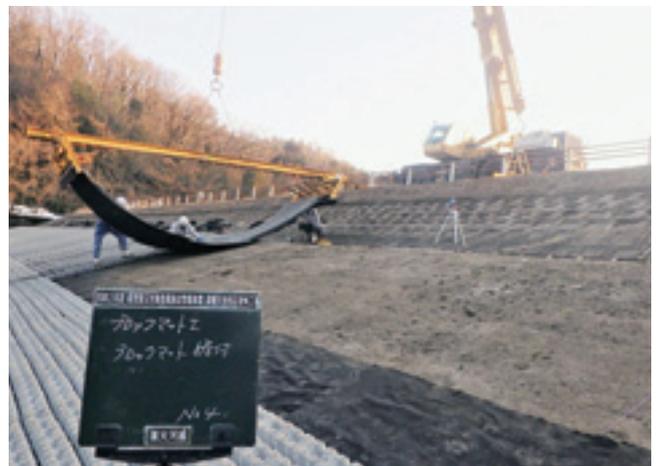
中層・浅層混合処理工



中層混合処理施工



堤体改良盛土工



ブロックマット据付

■現場代理人のコメント



現場代理人  
高田利広氏

この度は、優良建設工事知事表彰を頂き誠にありがとうございます。  
 地域住民の皆様の御理解、御協力を頂き、無事故、無災害で工事を完成することが出来ましたことをまずは心から喜んでおります。  
 私がこの業界で働き、はや40年近く経ちますが、まさかこの様な名誉ある賞を頂ける日が訪れるとは予想もしていませんでした。  
 工事において一番注意を払ったことは、中層混合処理工の大型地盤改良機の施工ヤードとなる、ため池内の仮設道路の施工です。ため池内に堆積するヘドロを高配合改良するとクラック等の発生により仮設道路の崩壊が予想されることから、一次改良 (100kg/m<sup>3</sup>) を施し、養生後に二次破碎改良 (100をkg/m<sup>3</sup>) を行い、強度確認のうえ仮設道路を築造し、無事に工事を終えることができました。  
 今後もこれまで培ってきた知識や技術を駆使し、皆様に満足いただけるよう向上心を常に忘れず地域の皆様に求められる誠実な施工に努めて参ります。

## 雇用改善コーナー

### 石川県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催

開催日時 令和3年12月7日(火) 13:10~15:20  
開催場所 石川県立羽咋工業高等学校  
出席者 建設・デザイン科1年生28名、2年生20名  
県協会 辻相談役以下4名  
地区協会 (一社)羽咋郡市建設業協会  
(一社)七尾鹿島建設業協会

#### 概要

意見交換会は、1、2年生の学年ごとに行われた。2年生との意見交換では、同校OBで石田工業(株)の奥本 平氏より「建設業は未来を創る仕事です」と題する講演をいただいた。奥本氏は、自身の仕事内容、1日のスケジュール、仕事に対するやりがい、休暇の過ごし方などについて説明した。その後、事前のアンケートを基に生徒とグループごとに意見交換した。

1年生との意見交換では、建設業への興味を深めてもらうことを目的に、現場で活用しているVRの操作体験と建設業を紹介するDVDの視聴をした。参加した地区協会のメンバーらが、生徒が感じている疑問や学校での過ごし方、建設業の資格等についてアドバイスした。



### 金沢市立工業高校生との意見交換会の開催

開催日時 令和3年11月26日(金) 13:20~15:30 (建築科)  
12月9日(木) 9:00~11:30 (土木科)  
開催場所 金沢市立工業高等学校  
出席者 建築科2年生 40名  
土木科2年生 40名  
(一社)金沢建設業協会青年委員会、事務局

#### 概要

(一社)金沢建設業協会青年委員会(委員長 梅谷基樹)が、建設業界の担い手確保の取り組みとして金沢市立工業高校を訪問し意見交換会を開催した。11月26日(金)に建築科2年生40名、12月9日(木)に土木科2年生40名を対象に建設業の魅力を伝えた。両日ともに、同校を卒業し会員企業に就職した先輩が、現

場監督の仕事内容、1日のスケジュール、これまでに苦労したことなどについて紹介した。その後、青年委員会に所属する若手職員がアドバイザーとして同席の下、各グループに分かれて意見交換した。



建築科生徒との意見交換



木下佳音氏 ((株)明翫組)



土木科生徒との意見交換



小林和真氏 (北川建設(株))

## 石川県立小松工業高校における企業ガイダンスの開催

開催日時 12月21日(火) 9:00~12:00

開催場所 石川県立小松工業高等学校

出席者 建設科2年生 40名

地区協会 (一社)小松能美建設業協会

(一社)加賀建設業協会

### 概要

(一社)小松能美建設業協会(会長 吉光岳文)と(一社)加賀建設業協会(会長 小中出佳津良)が、地元建設会社に対する理解を深めてもらい、将来、建設業での活躍を期待する人材の創出を目的として企業ガイダンスを開催した。ガイダンスは、生徒が各企業のブースを回る形で実施し、担当者は、生徒に自社の歴史や仕事内容、地域貢献活動、会社の雰囲気、建設業の魅力等について説明した。



## 地区協会コーナー

# 建設業の魅力を高校生にアピール 「石川県立翠星高校生徒との現場見学会・職業講座」を開催

(一社)白山野々市建設業協会

建設業界の若手就業者が著しく減少していることから、担い手の確保対策の一環として、平成27年度から石川県立翠星高校環境科学コース環境設計分野2年生と意見交換会を行っています。

今年度は、新たに1年生のうち環境科学コース環境設計分野(農業土木)を選択した19名を対象に現場見学会と職業講座の2部構成で実施しました。

### 【現場見学会】

①工 事 名：金沢美川小松線 地方道改築工事 (改良工その3)

場 所：上小川町～黒瀬町地内

工事概要：盛土工V=1,880㎡、排水工102m

請 負 者：北川土木(株) 現場代理人 (北川 寛)

②工 事 名：金沢美川小松線 地方道改築工事 (函渠工その1)

場 所：黒瀬町～松本町地内

工事概要：プレキャストボックスカルバート

(B6000×H1600)L=20m

請 負 者：(株)松建 現場代理人 (北野佳孝)



①改良工その3



②函渠工その1

### 【職業講座】

令和3年3月に同校を卒業し会員企業に入社した2名に「建設業に入職した理由」「働いて感じたやりがいや苦労したこと」「入社して半年の間で印象に残ったエピソード」などについて、率直な感想を述べていただきました。

1年生は、現場で感じたことやいろいろな疑問について質問をしていました。例えば、「現場がどのように進められて完成していったのか」、「工事費を聞いてびっくり」、「たった3人で現場を動かしている」など、知らなかったことに驚いていました。



同校卒業の新社員から



終了後、感想文を提出

# 今月の「輝き！」さん

No. 82



## 三友工業株式会社 西谷尚也さん

所 属：営業部  
 経験年数：8年9カ月  
 年 齢：26歳

金沢市田上本町2丁目の三友工業株式会社本社に、「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーはじめに、あなたの会社について教えてください。

当社は、道路の舗装工事をメインとした社員数25名の建設会社です。昭和44年4月に三友商会として個人創業した後、47年2月に会社組織となりました。社会整備の根幹である道路建設に誇りを持ち、安心して安全、そして快適に走れる道路を目指し、「素敵な街へのお手伝い」を心掛けています。今年2月に創立50周年を迎えます。私は営業部に所属しており副主任をしています。

ー入社のご動機について教えてください。

営業の仕事をしている父の姿を子供の頃から見ていることもあって、自分も将来は営業に関する職に就きたいと思っていました。高校3年生の就職活動で県内企業数社を訪問しましたが、その中で、会社や社員の皆さんの雰囲気にとっても魅力を感じたことが入社を決め手となりました。

ー入社後9年になろうとしています感想を一言。

現在、官公庁や民間から発注される工事の入札業務や見積の作成等を担当しています。もうすぐ9年目に入りますが、正直「あっという間」というのが実感です。一般商社と違って舗装という特殊な業態であり、入社当初は業務の内容はもちろん工事用機械の種類や名前を覚えるのにも一苦労しました。初めて現場に出たのは、「のと里山海道」の舗装工事現場でした。仕事やプライベートで現場を通るたびに、新入社員として不安な気持ちで現場に立った当時のことが懐かしく思い出されます。

ーこの仕事にやりがいを感じる時は。

受注できた現場で無事に工事が完成し、発注者から、「ありがとう。綺麗にできたね。また頼むよ。」とねぎらいの一言をいただいたときには、改めてこの仕事に誇りとやりがいを感じます。

ー休日の過ごし方について教えてください。

小学校4年生から高校の部活まで野球をしていました。社会人になってからは地域の早朝ソフトボールクラブの練習に時々参加しています。野球はもっぱらテレビ観戦で、大好きな阪神タイガースを応援しています。1歳の娘にまだまだ手がかかるので、休日は家族サービスに努めています。

ー最後に将来の夢、目標は？

公共工事に携わる者として、地域の方々に貢献できるような綺麗な仕事ができる技術者になりたいです。また、土木施工管理技士や建設業経理検定など仕事に必要な各種資格の取得に努め、会社に貢献できればと思っています。



## けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### (一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催

開催日時 令和3年12月20日(月) 13:30~15:00

開催場所 ホテル日航金沢

出席者 正副会長4名、理事36名、幹事3名

#### 概要

平櫻 保会長の挨拶に続き、武田吉孝日本銀行金沢支店長から、「最近の金融経済情勢」と題し講演をいただいた。

議事では、はじめに新規入会希望者の審議が行われ、北川土木(株)及び(株)酒谷組の入会が承認された。次に令和3年度収支予算の補正について審議が行われ承認された。続いて事務局から、令和3年度事業執行状況、今後の主な日程、会員受注高、建設業をめぐる最近の話題等について報告が行われた。

引き続き開催された石川県総合建設業協同組合理事会では、事務局から、令和3年度中間事業報告が行われた。



武田吉孝日本銀行金沢支店長



理事会会場

## 委員会の開催

### 土木委員会

#### ◎施工対策部会 工事現地検討会班長会議（後期）の開催

開催日時 令和3年12月3日(金) 17:00~18:30

開催場所 金沢茶屋

出席者 施工対策部会

正副部会長2名、班長10名、事務局1名

アドバイザー

正副委員長2名



会議状況

**概要**

11月16日(火)～17日(水)に行われた工事現地検討会の実施結果について、各班長から報告がされた。この後、工事現地検討会の参加者(発注者、受注者、設計コンサルタント、土木委員会委員、地区協会会員)から出された設計施工の問題点や、積算上の課題、仮設計画の考え方、安全管理などについて意見交換がなされ、改善を必要とする案件については発注機関へ要望していくこととした。また、次年度以降の工事現地検討会の実施方法等について意見交換が行われた。

**◎正副委員長会議の開催**

開催日時 令和3年12月23日(木) 10:30～14:00

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 正副委員長4名、事務局1名

**概要**

2月上旬に開催する「金沢河川国道事務所との意見交換会」の提案議題と、3月下旬に計画している現場研修会について審議を行った。

〈審議事項〉

1. 金沢河川国道事務所との意見交換会の提案議題について
  - 1) 土木委員会会員企業からの意見・要望等
  - 2) 課題抽出
  - 3) 意見交換会の議事次第(案)
2. 現場研修会について
  - ・実施内容について
  - ・負担金について
3. その他



会議状況写真

**建築委員会****◎金沢地区安全パトロールの開催**

開催日時 令和3年12月9日(木) 16:00～17:00

開催場所 新兼六駐車場建設現場

出席者 県営繕課1名、施工者1名

安全部会員6名、建築委員会会員14名、事務局1名

**概要**

金沢地区安全パトロールを「新兼六駐車場建設工事(その2・建築)」現場で実施した。

連友也部会長の挨拶後、県営繕課の近藤隆裕専門員より概要説明を受けたのち、施工者である兼六・日成ビルド・鈴木JVの現場代理人寺西兼一氏の案内でパトロールを実施した。現場は観光客等一般車両の出入りも多く、構内の施工スペースも限られているため、資材搬入・荷揚げや工程管理、特に1期工事との取り合い部分の調整に苦労したとの説明があった。現在80%の出来高であり令和4年3月の完成に向けて安全に仕上げ工事を進めている状況であった。



**土地改良委員会****◎北陸農政局長等への施策提案**

開催日時 令和3年12月2日(木) 10:00~16:00

開催場所 北陸農政局、西北陸土地改良調査管理事務所、河北潟周辺農地防災事業所

出席者 中市勝也副会長、正副委員長、事務局1名

**概 要**

岡田康晴委員長の挨拶に続き、石川善成北陸農政局長（代理 桑原耕一農村振興部長）、田井浩朗西北陸土地改良調査管理事務所長、家元隆佳河北潟周辺農地防災事業所長に「農業農村整備事業の推進に関する提案書」を手渡し、要望内容について説明の後、コメントをいただき解決への方策等について意見交換を行った。

**【要望事項】**

- ・ 予算の持続的かつ安定的確保
- ・ 工事の受注機会の確保
- ・ 改正品確法の徹底

**【報告事項】**

- ・ 昨年度完了工事を対象とした「令和3年度施工実態アンケート調査結果」



北陸農政局



西北陸土地改良調査管理事務所



河北潟周辺農地防災事業所

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

# 令和3年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

## 「建設業の若手の増加」

兼六建設株式会社 爲田拓馬

現在、建設業全体では次世代に技術を繋いでいく若手技術者の減少が大きく見られます。これに伴い、建設業に従事する方の年齢層をみると、高齢者の割合が高くなり、数年後には建設業に従事する方の人口が減ることがわかります。また、若手が減ることにより技術の伝承が行われず、建設業が衰退していくと考えられます。建設業は日本の社会が回るためのベースだと思っています。それは、日用品を開発製作するうえで工場やそれらを管理保管するための倉庫、販売するための店舗、私たちが安心して生活するための住居、ものの流通、人の行き来に必要な道路や線路等のインフラを作っているのは建設業です。従事者が減ることにより、それらをメンテナンス及び工事等を行う人がなくなり、道路や建物等がボロボロになったり使用するのが危険となり、私たちの普段の生活に悪影響が出てくると思います。このように、普段の生活を支えている建設業の従事者が減るとは大きな問題となると考えています。

建設業に従事する若手技術者を増加させるのに大切だと思うことを私なりに何点か考えてみました。まず1点目ですが、建設業の魅力を発信していくことが大切だと思います。従来建設業は3Kのイメージが付いていました。しかし、それ以上に、手に職が付いたり、自分自身が関わったものが地図に残ったりします。手に職が付くということは、作業に対する技術が身につくため、今所属している企業から去ることになっても、同業種で仕事を見つけやすかったり、また自分自身で会社をおこしたりできるため、仕事が無くなることはないという点です。次に、従事した物が地図に残ります。私も何件か建物の建設に関わっていますが、地図に載るとすごく誇らしいです。特に、話題のスポットになっている所等に従事すると友達や家族からすごいねと言われたり、その工事の施主さんから素敵なのをありがとうございますと言われると、すごくうれしくなります。2点目ですが、小学生から高校生までの人たちに、工事現

場の見学会や職場体験、コミュニケーションの機会等を開催し、実際に建物等がどのように造られているのかについての経験や話を聞く機会を作ることだと思います。物づくりの楽しさや苦労の中で物が完成した時の感動や建設業の魅力を子供たちに伝えていく事は大切だと思います。また、親御さんと参加することによって建設業のイメージを良いものに出来るのではないかと思います。また、見学会を開くことによるもう一つのメリットは、現場内の意識改革につながると考えられます。外部から自分自身の技術が見られるという意識になるため、外から見られても恥ずかしくない様に、技術の向上や意識改革につながると考えます。3点目は、次世代の機械及び技術をしっかりと発展させていくことだと思います。現場内での危険作業やつらい作業等を新しい工具や技術、工法等で減らしていくことによって、仕事による負担を減らすことにより建設業に入りやすいイメージを付けることが出来ると思います。最近人気の業種は主にデスクワーク等になっていると感じます。肉体労働等がない仕事が人気になっているため、最新技術や工法を積極的に取り入れ、体に対する負担を軽減することにより、建設業はどのような人でも仕事ができるとアピール付けができ、また労働環境が良くなる傾向になると考えます。

今現在、建設業界全体から企業までが、若手技術者の確保から教育に努めています。このような、建設業界の少子高齢化に少しでも歯止めがかかり、また建設業界に入ってきた若手技術者にしっかりと教育及び技術の伝達ができるような環境にしていきたいと思っています。建設業が廃れてしまうと、日本のインフラが悪くなってしまい、生活しにくくなり、色々な人や物が海外に出て日本自体が廃れていく可能性が高いと思うので、社会のベースである建設業の次世代を担う若手技術者の確保及び教育を頑張っていきたいと思っています。

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

# 令和3年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

## 「これからの建設業への想い」

株式会社吉光組 宮田和季

建設産業の仕事とは、僕たちの身の周りや日常生活をする上で、大きな影響を与えている仕事の一つだと私は思います。例えば挙げるなら、自分の住んでいる家や、働いている会社などがあります。自分の住んでいる家は生活する上で必要不可欠であり、家がなければ帰る場所也没有ありません。そして自分の働いている会社においても働いている人達は、社屋という建物・機能がなければ成り立ちません。元をたどれば、建設産業という仕事は社会の根幹であり、これからの未来へと繋ぐ架け橋になる大事な仕事です。

また、そんな建設産業でも、家や会社といった特定の建物や機能をつくるだけが私たちの仕事ではありません。何気なく通っている道路やトンネルなどの公共施設をつくることも私たち建設産業の大事な仕事です。一言で道路といっても農道や林道、高速道路と言った様々な道路が存在します。そしてこれらの道路は、私たちが生活する上での移動手段に大きな影響と役割を担っています。言わずもがなどんなに良い車を持っていようが、走る道路が無ければ意味がありません。しかし、車は私たちの生活にはなくてはならないものであり、移動手段の一つでもあります。そう言ったことから、建設産業の仕事とは、家や建物を建てる以外にも、私たちの最も身近に存在し、生活する

上での必要不可欠な仕事であると言って良いと思います。だからこそ建設産業の仕事に誇りを持って、胸を張って私たちの仕事はこんな仕事だと言えると思います。

しかし、そんな誇りを持てる仕事であっても、この建設業の仕事に就職しようとする若者の数が非常に少ないことが現状の大きな課題です。なぜなら、この仕事は建築・土木共にきつい、汚い、危険と言ったマイナスイメージがあり、特に土木に関しては、よりそう言ったイメージが強いことから、若者の就職率が低い傾向に表れています。しかし、そう言ったイメージを無くして貰うために、私たちは地元の工業高校に沢山の現場見学及び現場体験を設ける事で、建設業のマイナスイメージを少しでも無くしてもらえるよう努力しています。そして、これらの機会をきっかけに、建設産業の仕事に少しでも興味を持ってくれる若者が増えると嬉しいです。また、この建設産業の仕事は、男性が多いイメージですが、女性にもたくさん興味を持ってもらい、ジェンダーを超えて建設産業の仕事に就職したいと思ってくれる人が増えると嬉しく思います。そしてこの産業への入職者数増加をきっかけに、これからの建設産業の仕事に発展と成長があればより良い未来像が描けると思います。

# 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和3年分）

令和3年11月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	17	(14) 44	9	(14) 70	① (12) 53	② 663
小松監督署	7	(6) 8	① 4	① (6) 19	(4) 22	① 283
七尾監督署	4	① (6) 11	2	① (6) 17	① (5) 20	② 147
穴水監督署	① 10	(3) 5	2	① (3) 17	(1) 8	① 73
計	① 38	① (29) 68	① 17	③ (29) 123	② (22) 103	⑥ 1,166
前年同期	① 29	(22) 51	① 23	② (22) 103		⑧ 969

( )内は木建工事 ○内は死亡者数  
対前年同期比の増減 建設業：103件→123件【20件（19.4%）増加】 全産業：969件→1,166件【197件（20.3%）増加】

## 令和3年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%
9月分	155	92	168.5%	1,871	1,620	115.5%	2,026	1,712	118.3%
10月分	362	179	202.2%	1,451	1,032	140.6%	1,813	1,211	149.7%
11月分	200	85	235.3%	1,387	1,497	92.7%	1,587	1,582	100.3%
年度累計	1,656	1,392	119.0%	17,552	12,017	146.1%	19,208	13,409	143.2%
元年度累計		2,207	75.0%		18,559	94.6%		20,766	92.5%
30年度累計		2,405	68.9%		18,769	93.5%		21,174	90.7%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%	令和3年度	令和2年度	%
9月分	5,043	4,661	108.2%	2,936	1,132	259.4%	7,979	5,793	137.7%
10月分	2,432	4,589	53.0%	1,244	653	190.5%	3,676	5,242	70.1%
11月分	4,153	2,457	169.0%	150	6,665	2.3%	4,303	9,122	47.2%
年度累計	32,571	31,838	102.3%	11,078	21,042	52.6%	43,649	52,880	82.5%
元年度累計		33,486	97.3%		10,945	101.2%		44,431	98.2%
30年度累計		28,955	112.5%		8,389	132.1%		37,344	116.9%

合 計（民間+官公庁）

	令和3年度	令和2年度	%		令和3年度	令和2年度	%
9月分	10,005	7,505	133.3%	年度累計	62,857	66,289	94.8%
10月分	5,489	6,453	85.1%	元年度累計		65,197	96.4%
11月分	5,890	10,704	55.0%	30年度累計		58,518	107.4%

※下記の内容が変更となりましたのでお知らせいたします。

令和3年度8月分 民間 建築 元請 2,993→**2,992** 官公庁 建築 元請 692→**725**  
令和3年度10月分 民間 土木 元請 363→**362**

## 会員の異動

今回届け出があったのは次の2件でした。

### ○新規入会

商号	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
北川土木(株)	上田 大造	924-0071	白山市徳光町161番地	076-276-3328	076-276-3855
(株)酒谷組	酒谷 正志	924-0001	白山市八田町112番地3	076-275-8213	076-274-4348

なお、変更があった時点で届け出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 令和4年1月行事予定

- 1月 4日(火) 経済3団体新年互礼会 (ホテル日航金沢)  
 11日(火) 建設業業務連絡調整 (金沢建設業協会)  
 建設業業務連絡調整 (加賀建設業協会)  
 建築設計関連6団体合同新年互礼会  
 (ホテル日航金沢)  
 12日(水) 建設業業務連絡調整 (河北郡市土建協同組合)  
 建設業業務連絡調整 (七尾鹿島建設業協会)  
 13日(木) 土木委員会 役員会  
 14日(金) 土地改良委員会 第2回技術検討部会  
 17日(月) 広報・研修委員会 (ホテル日航金沢)  
 協会・組合合同新年互礼会 (ホテル日航金沢)  
 18日(火) 建設業業務連絡調整 (白山野々市建設業協会)  
 19日(水) 建設業業務連絡調整 (羽咋郡市建設業協会)  
 20日(木) 社会資本整備セミナー  
 (石川県地場産業振興センター)  
 24日(月) 石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー  
 26日(水) 事務担当者説明会 (河北郡市土建協同組合)  
 27日(木) ゆきみらい2022in 白山 (~28日)  
 (松任文化会館・白山郷公園)  
 事務担当者説明会 (珠洲建設業協会)  
 事務担当者説明会 (鳳輪建設業協会)  
 28日(金) 事務担当者説明会 (羽咋郡市建設業協会)  
 事務担当者説明会 (七尾鹿島建設業協会)  
 土木委員会 新年会 (七尾市内)  
 31日(月) 事務担当者説明会 (金沢建設業協会)  
 事務担当者説明会 (白山野々市建設業協会)  
 専門技術研究会(河川・海岸) (北陸地方整備局)

### 令和4年2月以降の行事予定

- 2月 1日(火) 専門技術研究会(河川・海岸) (北陸地方整備局)  
 石川県土木施工管理技士会 研修会  
 事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)  
 事務担当者説明会 (加賀建設業協会)  
 4日(金) 北陸建設青年会議 役員会・局長との意見交換会  
 (新潟)  
 7日(月) 正副会長会議  
 常任理事会  
 安全・環境対策特別委員会 BCP研修会  
 9日(水) 全建 総務委員会 (東京 東京建設会館)  
 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会  
 (ホテル金沢)  
 16日(水) 北陸地方整備局との意見交換会  
 (ホテル日航金沢)  
 17日(木) 入職前研修 (~18日)  
 18日(金) 石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー  
 (七尾鹿島建設業協会)  
 22日(火) 石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー  
 (小松能美建設業協会)  
 土地改良委員会 県農林水産部との意見交換会  
 (金沢ニューグランドホテル)  
 3月 2日(水) 北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会  
 (新潟 アートホテル新潟駅前)  
 3日(木) 土地改良委員会 現場研修会  
 4日(金) 正副会長会議  
 7日(月) 土地改良委員会 家畜伝染病防疫対策訓練 講演会  
 15日(火) 全建 協議委員会 (東京 経団連会館)  
 17日(木) 税財務講習会 (奥能登総合事務所)  
 18日(金) 廃棄物講習会  
 24日(木) 土木委員会 現場研修会 (~26日) (沖縄県)  
 25日(金) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)  
 6月 7日(火) 全建 総会 (東京 経団連会館)  
 10月27日(木) 北陸地区建設業協会 地域懇談会 (富山)

### 「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)  
 ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)  
 ③協会報の発行 毎月1日発行  
 (毎月10日前後納入、会員送付)  
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

## 会員の異動

今回届け出があったのは次の2件でした。

### ○新規入会

商号	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
北川土木(株)	上田 大造	924-0071	白山市徳光町161番地	076-276-3328	076-276-3855
(株)酒谷組	酒谷 正志	924-0001	白山市八田町112番地3	076-275-8213	076-274-4348

なお、変更があった時点で届け出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 令和4年1月行事予定

- 1月 4日(火) 経済3団体新年互礼会 (ホテル日航金沢)  
 11日(火) 建設業業務連絡調整 (金沢建設業協会)  
 建設業業務連絡調整 (加賀建設業協会)  
 建築設計関連6団体合同新年互礼会  
 (ホテル日航金沢)  
 12日(水) 建設業業務連絡調整 (河北郡市土建協同組合)  
 建設業業務連絡調整 (七尾鹿島建設業協会)  
 13日(木) 土木委員会 役員会  
 14日(金) 土地改良委員会 第2回技術検討部会  
 17日(月) 広報・研修委員会 (ホテル日航金沢)  
 協会・組合合同新年互礼会 (ホテル日航金沢)  
 18日(火) 建設業業務連絡調整 (白山野々市建設業協会)  
 19日(水) 建設業業務連絡調整 (羽咋郡市建設業協会)  
 20日(木) 社会資本整備セミナー  
 (石川県地場産業振興センター)  
 24日(月) 石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー  
 26日(水) 事務担当者説明会 (河北郡市土建協同組合)  
 27日(木) ゆきみらい2022in白山 (～28日)  
 (松任文化会館・白山郷公園)  
 事務担当者説明会 (珠洲建設業協会)  
 事務担当者説明会 (鳳輪建設業協会)  
 28日(金) 事務担当者説明会 (羽咋郡市建設業協会)  
 事務担当者説明会 (七尾鹿島建設業協会)  
 土木委員会 新年会 (七尾市内)  
 31日(月) 事務担当者説明会 (金沢建設業協会)  
 事務担当者説明会 (白山野々市建設業協会)  
 専門技術研究会(河川・海岸) (北陸地方整備局)

### 令和4年2月以降の行事予定

- 2月 1日(火) 専門技術研究会(河川・海岸) (北陸地方整備局)  
 石川県土木施工管理技士会 研修会  
 事務担当者説明会 (小松能美建設業協会)  
 事務担当者説明会 (加賀建設業協会)  
 4日(金) 北陸建設青年会議 役員会・局長との意見交換会  
 (新潟)  
 7日(月) 正副会長会議  
 常任理事会  
 安全・環境対策特別委員会 BCP研修会  
 9日(水) 全建 総務委員会 (東京 東京建設会館)  
 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会  
 (ホテル金沢)  
 16日(水) 北陸地方整備局との意見交換会  
 (ホテル日航金沢)  
 17日(木) 入職前研修 (～18日)  
 18日(金) 石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー  
 (七尾鹿島建設業協会)  
 22日(火) 石川県土木施工管理技士会 DVDセミナー  
 (小松能美建設業協会)  
 土地改良委員会 県農林水産部との意見交換会  
 (金沢ニューグランドホテル)  
 3月 2日(水) 北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会  
 (新潟 アートホテル新潟駅前)  
 3日(木) 土地改良委員会 現場研修会  
 4日(金) 正副会長会議  
 7日(月) 土地改良委員会 家畜伝染病防疫対策訓練 講演会  
 15日(火) 全建 協議委員会 (東京 経団連会館)  
 17日(木) 税財務講習会 (奥能登総合事務所)  
 18日(金) 廃棄物講習会  
 24日(木) 土木委員会 現場研修会 (～26日) (沖縄県)  
 25日(金) 全建 専務・事務局局長会議 (東京 鉄鋼会館)  
 6月 7日(火) 全建 総会 (東京 経団連会館)  
 10月27日(木) 北陸地区建設業協会 地域懇談会 (富山)

### 「協会報」への随筆等投稿 (お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚 (1,200字以上)  
 ②投稿の期日 毎月25日頃 (翌月号の編集締切り)  
 ③協会報の発行 毎月1日発行  
 (毎月10日前後納入、会員送付)  
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

## 地区協会からのお知らせ

### (一社)金沢建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月 7日(金) 青年委員会：デザインアワード表彰式  
11日(火) 役員会：理事会  
建設業業務連絡調整  
13日(木) 新年挨拶回り  
18日(火) 青年委員会：情報発信セクション  
19日(水) 協会・組合 合同新年会  
25日(火) 土木部会：運営委員会  
31日(月) 事務担当者説明会

### (一社)加賀建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月11日(火) 建設業業務連絡調整  
14日(金) 新年互礼会

#### 《お知らせ》

- 2月 1日(火) 事務担当者説明会

### (一社)小松能美建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月21日(金) 新年会

#### 《お知らせ》

- 2月 1日(火) 事務担当者説明会

### (一社)白山野々市建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月18日(火) 理事会  
建設業業務連絡調整  
新年互礼会  
27日(木) ゆきみらい2022in白山(~28日)  
31日(月) 事務担当者説明会

### 河北郡市土建協同組合

#### 《行事予定》

- 1月12日(水) 建設業業務連絡調整  
26日(水) 事務担当者説明会

### (一社)羽咋郡市建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月19日(水) 役員会  
建設業業務連絡調整  
28日(金) 事務担当者説明会  
協会・資材組合 合同新年会

#### 《お知らせ》

- 2月 4日(金) 定期健康診断(羽咋シルバー人材センター)  
3月29日(火) 役員会

### (一社)七尾鹿島建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月12日(水) 建設業業務連絡調整  
14日(金) 新年会  
28日(金) 事務担当者説明会

### (一社)鳳輪建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月13日(木) 新年会  
27日(木) 事務担当者説明会

### (一社)珠洲建設業協会

#### 《行事予定》

- 1月20日(木) 新年会  
27日(木) 事務担当者説明会

# 令和の時代も信頼と安心

労災上乗せ補償は

# 建設共済 保険

ともに歩み、ともに支える。

掛金が魅力

労働者と企業のリスクをカバー  
(死亡及び障害1~7級、傷病1~3級)

契約者に役立つ事業充実

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

おかげさまで50年

50<sup>th</sup>

契約者と業界の発展のために  
建設共済保険

契約者と業界の発展のために

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

## 公益財団法人 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階  
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23

Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258

